

## マイクロデータの縦断的分析法

日時: 3月6日(金)~3月7日(土) 13:00~17:15  
場所: 東京大学(本郷)赤門総合研究棟2階 教育学部200番教室  
料金: 一般 4,000円、学生 2,000円

講師: 福田亘孝(青山学院大学)  
水落正明(三重大学)

### 本コースの内容

社会科学では、個人の変化を扱うデータを用いることがしばしばあります。たとえば、結婚・死亡などのライフイベントとか、毎年の所得の変動などがそれにあたります。そのような縦断的なデータのもつ情報を読み解くために、さまざまな統計分析手法が開発されてきました。本コースでは、それらの中から代表的なものとしてパネルデータ分析とサバイバル分析をとりあげ、手法の意義やしぐみを講義します。また、統計ソフトウェアSTATAによる分析の方法、出力の読み方を解説します。

### このような方におすすめです

- ・ライフヒストリーデータの統計分析に関心がある
- ・パネルデータの分析手法を初歩から学びたい
- ・生存分析で何ができるのか、どういう場面で用いるのか知りたい

### 注意事項

マシン実習はありません(講師によるSTATA操作のデモのみです)  
入門~初級レベルの統計知識を持っていることを前提としています  
本コースには、所属機関などによる受講者制限はありません

### 本コースの日程

6日 「パネルデータ分析」(担当講師:水落正明)

#### パネルデータ分析

パネルデータは豊富な情報量を持ち、実証分析において非常に有用なものです。講義では、パネルデータの特徴から、データの整理の仕方、記述統計的な分析方法について解説したあと、いくつかの推定方法を紹介します。パネルデータ分析をしたことはないが、これからチャレンジしたいという方を念頭に、基本的なところをおさえていく講義です。分析の実演ではStataを使用します。

7日 「サバイバル分析」(担当講師:福田亘孝)

#### サバイバル分析

サバイバル分析は生存時間分析やイベント・ヒストリー分析とも呼ばれ社会科学でよく使われる分析手法です。講義では、まず、サバイバル分析の原理について数理的な説明をします。続いて、パーソン・ペリオド・データ、カプランマイヤー法やログランク検定といったサバイバル分析の基礎について解説します。そして、最後に、離散時間ハザード分析、Cox比例ハザードモデルや等比性の検討などの多変量による分析について説明します。